

嶋谷市左衛門小笠原諸島巡検 350 周年記念事業 第 1 回 事業部会 会議概要

- 1 日時 令和 7 年 2 月 21 日 (金)
- 2 会場 東京連絡事務所
父島小笠原村役場会議室
- 3 出席者 東京連絡事務所 オブザーバー：渋谷村長
宮城委員、延島委員、吉井委員、上原委員、柏木アドバイザー
父島小笠原村役場会議室 織田委員
- 4 事業部会会議概要

(1) 「事業部会の目的」の確認

(2) 長崎市訪問を終えた報告や感想、部会として取り組みたいことの意見交換

① 各委員からの長崎市訪問を終えた報告や感想

- ・ 柏木先生からは「嶋谷市左衛門関係資料調査報告メモ」の提供をしていただいた。
- ・ 吉井委員からは、「嶋谷市左衛門そのものが何者か」という疑問が広がったという感想が寄せられた。
- ・ 宮城委員からは写真をもとに神戸市立博物館訪問、徳島県海陽町訪問を含め報告や感想、「顕彰する会」の方々との交流などについてお話いただいた。
- ・ 延島委員からは神戸市立博物館訪問、島原訪問を含めた報告や感想、「顕彰する会」の方々との交流などについてお話いただいた。

② 各委員からの報告や感想に対する質疑

(3) 部会として取り組みたいこと

■宮城委員

- ・ 嶋谷の初上陸の場所の特定
- ・ 記念碑の設置
- ・ 嶋谷市左衛門実行委員会で映像を作る
- ・ 長崎訪問も含め、映像を撮影
- ・ 認知度を上げるための小冊子の作成
- ・ 歴史的史実の確認
- ・ 小笠原村のHPへの掲載

■延島委員

- ・ 歴史の検証、正しい事項の継承・不明(未解明)事項の抽出後世への引継 ぶにん→Bonin 論破棄！ 1830 年定住年の和暦文政 13 年の定着 (天保元年論破棄！) 二見湾内の二見港論破棄！ 嶋谷市左衛門町人/武士説確定、唐船よみ (とうせん/からぶね) 確定、船名確定、富国壽航とは何か確定、伊豆代官関与の有無、嶋谷図の地名確定、当時の島の動植物 (鳥を除く)の推定、各種古地図の検証・整理
- ・ 記念碑・パンフレット・記録作成
- ・ 展示会 (父島ビジターセンター、母島ローズ記念館)
- ・ 講演会 (事前：小花作助＝柏木先生、展示中：松尾龍之介)
- ・ 嶋谷市左衛門ご子孫、式典への招待
- ・ 記念グッズ作成・販売 (ファイル、手拭い)

- ・小笠原諸島関係市町村・団体・研究者との恒常的ネットワーク設置
- ・阿波みかん船(徳島県)漂着 360 周年記念の準備
- ・実行委員会内 (アドバイザー含む) の情報共有システムの構築

(4) 事務局からの「顕彰する事業」(案) とそれに対する意見交換

■事務局からの「顕彰する事業」(案)

- ① 講演会の実施
- ② 顕彰碑と解説板の設置
- ③ 特別展示の実施
- ④ その他

■「顕彰事業」(案) に対する主な意見

- ・顕彰事業の前提として正確な歴史認識を明らかにすることが大切である。
- ・史料が限られており、「確定できる話」と「確定できない話」がある。
- ・正確な歴史認識を明らかにすることは難しいが、長崎学研究所側と相互に足並みを揃えて確定している事柄を主軸に今後の研究に繋げていけたら良いのではないかと。
- ・記念碑と解説板を別に作るか一体にして作りかについては今後検討する。
- ・記念碑設置場所の候補地は、嶋谷が上陸した場所に設置するか祠を建てた場所に設置するか、また、その場所を特定できるのか、など今後の部会で検討する。
- ・学校の先生方は嶋谷の功績を知らない。授業でも扱われていない。もっと小笠原の歴史を学校で勉強する機会を設けてほしい。
- ・「顕彰する事業」(案) は①～③で終わりではなく、今後、「その他」で加えることが可能である。
- ・小冊子や映像、あるいはアニメーションや絵本、劇なども含めて、村民に分かりやすく発信できる広報を検討したい。

(5) 記念事業の全体スケジュール (案) の検討

(6) その他

- ・事業部会のメーリングリストに柏木先生、織田さん、小関さんを追加したい。
- ・メーリングリストの方に実行委員会の規約や委員の構成メンバーなどの情報も載せておいてほしい。
- ・杉本論文は小笠原村教育委員会に寄贈されているはずである。それを委員に共有してほしい。